

2026年4月14日

各 位

会 社 名 株式会社ワイズテーブルコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 船 曳 睦 雄
 (コード：2798 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役執行役員 武 本 尚 子
 (TEL：03-5412-0065)

**特別損失の計上及び
 2026年2月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ**

当社は、2026年2月期第4四半期（2025年12月1日～2026年2月28日）において、特別損失を計上いたしました。

また、2025年10月14日に、2026年2月期通期連結業績予想を公表いたしました。が、連結業績予想と本日公表の実績値との差異が生じました。

これらについて、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当第4四半期において、当社運営の3店舗の資産について減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失71百万円を特別損失に計上いたしました。なお、この結果、当連結会計年度の減損損失の合計は80百万円となりました。

2. 2026年2月期連結業績予想と実績値との差異について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,081	401	485	527	160.00
今回発表実績 (B)	13,046	249	345	205	62.23
増減額 (B-A)	△35	△151	△139	△322	△97.77
増減率	△0.3%	△37.9%	△28.8%	△61.1%	△61.1%
(ご参考) 前年同期実績 (2025年2月期通期)	12,120	118	248	260	79.03

(差異の理由)

売上高は、2025年10月14日公表の連結業績予想とほぼ同水準となりました。しかしながら、下期業績予想に織り込んでいた直営店の売却を実施しなかったために売却益が発生しなかったほか、売上を獲得するためのコスト（予約媒体手数料、デリバリー媒体手数料等）の増加や、人材不足を補うための外部サービス関連費用（派遣人件費、配送委託手数料等）の増加等により、販売費及び一般管理費が予算を上回りました。この結果、営業利益及び経常利益が予算を下回ることとなりま

した。

また、上記の通り当第4四半期において減損損失 71 百万円を特別損失として計上したこと、現時点での将来課税所得を見積もり繰延税金資産の回収可能性を検討し、法人税等調整額 55 百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益も予算を下回ることとなりました。

以上

本リリースに関するお問い合わせ先： 株式会社ワイズテーブルコーポレーション
経理・財務・IR グループ TEL 03-5412-0062